

第24回 京都の秋 音楽祭

京都コンサートホール
開館25周年

ベートーヴェン
生誕250周年

記念事業

まだまだ知らない
ベートーヴェンがいた

Vol. 1 Songs and Chamber music Beethoven loved

「楽聖の愛した歌曲・室内楽」

2020 10.10 | 土 | 全席指定

一般 ¥4,000 / U-30 ¥2,000 (当日座席指定 ※要証明) / 会員* ¥3,600

Vol. 2 The Pianist, Beethoven

「ピアニスト・ベートーヴェン」

2020 11.7 | 土 | 全席指定

一般 ¥5,000 / U-30 ¥2,500 (当日座席指定 ※要証明) / 会員* ¥4,500

[開演] 各回14:00 (開場13:30)

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

[主催] 京都市 / 京都コンサートホール
(公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)

[後援] 村田機械株式会社 / 京都府 / 朝日新聞京都総局 /
大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 /
京都新聞 / ゲーテ・インスティトゥート大阪・京都 /
産経新聞社京都総局 / 毎日新聞京都支局 /
読売新聞京都総局 / α-STATION エフエム京都 / KBS京都
[協力] 京都府立図書館

*京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会の会員が対象です。



特設ページ

The world unknown to
Ludwig Van Beethoven

知られざる世界

ベートーヴェンの

25th
京都コンサートホール
KYOTO CONCERT HALL

ベートーヴェンの知られざる世界

The world unknown to *Ludwig van Beethoven*

会場：京都コンサートホール アンサンブルホールムラタ

まだまだ知らないベートーヴェンがいた――

京都コンサートホールがお届けする、知られざるベートーヴェンの世界

「ベートーヴェンの知られざる世界」に寄せて

2020年12月16日(洗礼日17日)に、生誕250年を迎えるベートーヴェン。彼の魅力を再発見できるにちがいないコンサートが、秋の京都で2回続けて開催されます。第1回は、声楽史上はじめての連作歌曲集《遙かなる恋人に寄す》、数百曲に編曲しているイギリス民謡のベートーヴェンによるピアノ三重奏伴奏版、めったに聴けないヴィオラとヴァイオリンの二重奏《2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲》、そして、モーツァルトと同じ構成にして音楽内容の全く異なる《ピアノと管楽のための五重奏曲》を、京都交響楽団メンバーと若手俊英のアンサンブル、マティアス・ヴィンクラーのバリトン独唱でお楽しみいただきます。また第2回には、ベートーヴェンの音楽演奏に明確な哲学と美学を示す巨匠ゲルハルト・オピッツのピアノと石上真由子のヴァイオリン、上森祥平のチェロで、ベートーヴェン自らが編曲した自作交響曲第2番のピアノ三重奏版をメインとしたプログラムを披露します。どうぞこの千載一遇のチャンスをお聴き逃しありませんように。

平野 昭 (音楽評論家)

Vol. 1

「楽聖の愛した歌曲・室内楽」

ベートーヴェンとおきの
「こだわり」を垣間見る

2020年10月10日|土|14:00開演

全席指定

一般 ¥4,000 / U-30 ¥2,000 (当日座席指定 ※要証明) / 会員* ¥3,600

*京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会の会員が対象です。



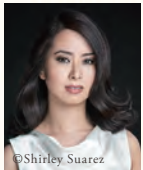
平野 昭 /ナビゲーター・レクチャー Akira HIRANO (Navigator, Lecture)

1949年、横浜生まれ。武蔵野音楽大学大学院音楽研究科音楽学専攻修了。沖縄県立芸術大学教授、静岡文化芸術大学教授、慶應義塾大学文学部及び大学院文学研究科教授を歴任。現在、桐朋学園大学特任教授、東京音楽大学大学院及び日本大学芸術学部非常勤講師。西洋音楽史学および音楽美学、音楽社会学を研究領域として音楽評論分野でも活動。専門研究は18世紀および19世紀の音楽様式論、とりわけ古典派およびロマン派作品の様式研究。音楽評論分野では「毎日新聞」等での演奏会評、「レコード芸術」「音楽の友」等々の紙誌への執筆、NHK音楽番組への出演など。所属学会：日本音楽学会、国際音楽学会、日本18世紀学会、三田芸術学会、三田哲学会。日本音楽コンクール・ピアノ部門審査員、浜松国際ピアノコンクール運営委員、浜松市楽器博物館運営協議会委員、神奈川県文化芸術振興審議会委員、日本製鉄文化財団洋楽委員、毎日芸術賞選考委員。



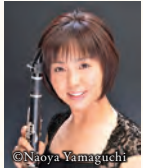
マティアス・ヴィンクラー /バリトン Matthias WINCKHLER (Baritone)

1990年生まれ、ミュンヘン出身。数々の受賞歴を誇り、2017年the Trude Eipperle Rieger Advancement Prizeの受賞をはじめ、2014年にザルツブルク国際モーツァルトコンクールにて、一等賞とモーツァルトウム財団特別賞を受賞した。その他には、2012年国際ヨハン・セバスチャン・バッハコンクール、2010年、ベルリンでのナショナル・ジュニア・ヴォイス・コンクール、2014年のシュペルト・リート・デュオコンクールにおいて入賞している。これまでに、ジョヴァンニ・アントニーニ、カール=フリードリヒ・ペリンジャー、ファビオ・ボニツォーニ、ラインハルト・ゲーベル、ハンス・グラーフ、マシュー・ホールズ、パブロ・エラス=カサド、エノッホ・ツォー・グッテンベルク、ギュンター・イエーナ、ジャンドレ・ノセダ、ラルフ・オット、ワシリー・ペレレンコらといった一流の指揮者と定期的に共演するほか、ベルリン古楽アカデミー、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、カメラータ・ザルツブルク、モーツァルトウム管弦楽団、ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団、ハンブルク・フィルハーモニー管弦楽団、オランダ・バッハ協会合唱団・管弦楽団、バッハ・コレギウム・ジャパン、オスロ・フィルハーモニー管弦楽団といった名だたるオーケストラと共演を果たしている。



村上 明美 /ピアノ Akemi MURAKAMI (Piano)

兵庫県西宮市出身。3歳よりバレエ、4歳よりピアノを始める。京都市立芸術大学で学んだ後、フライブルク音楽大学、ミュンヘン音楽・演劇大学にて修了。これまで、ヨーロッパで数々の重要な音楽祭に出演のほか、コンツェルトハウス・ベルリン、ミュンヘン・プリンツレーゲンテン劇場、ガスタイク、パイロイト辺境伯歌劇場、フランス・リールオペラ劇場等での演奏会で高評を博す。アンゲリカ・キルビシュラーガー、ダニエル・ペーレ、トーマス・パウワ、中嶋彰子、ベンヤミン・アップル、ユリアン・プレガルディエン等と歌曲共演し、多くの国際的歌手から信頼を集める。南ドイツ紙では「美しく色彩溢れ、明確で透明感のある演奏」と絶賛され、同紙の2018年文化部門にて「期待のホープ」に選出された。アンドレアス・ブルクハルトとのCD「ゲーテ歌曲集」をリリース。このCDは2019年度OPUSKLASSIK賞の新人賞声楽部門にノミネートされた。「ミュンヘン国際音楽コンクール」声楽部門の公式ピアニスト。2017年より、ミュンヘン宮殿とニュンフェンブル城で開催される歌曲演奏会シリーズ「LIEDERLEBEN」の芸術監督を務める。ミュンヘン在住。



小谷口 直子 /クラリネット Naoko KOTANIGUCHI (Clarinet)

東京藝術大学卒業、同大学大学院修士課程修了。第71回日本音楽コンクール第1位ほか受賞多数。文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンへ留学。これまでに、全国主要オーケストラ・吹奏楽団体からの招きにより多くのソリスト協演がある他、CDリリース、ソロリサイタルや室内楽公演、学校・施設などでのアウトリーチなど、各地で幅広い活動を展開している。京都市交響楽団首席クラリネット奏者。京都市立芸術大学、同志社女子大学非常勤講師。



水無瀬 一成 /ホルン Kazunari MINASE (Horn)

京都市出身。2003年、京都市立芸術大学音楽学部を卒業し同年、名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団し首席奏者を務める。2011年、京都市交響楽団へ副首席奏者として、2016年には日本センチュリー交響楽団へ首席奏者として移籍し、2019年より再び京都市交響楽団へ副首席奏者として入団し現在に至る。名古屋芸術大学音楽学部、相愛大学音楽学部、滋賀県立石山高等学校音楽科、各非常勤講師。小山亮、猶井正幸の各氏に師事。



村中 宏 /ファゴット Hiroshi MURANAKA (Fagotto)

大分県出身。東京藝術大学をアカンサス音楽賞、同声会賞を受賞し卒業。同声会新人演奏会に出演。ソリストとしてヨルマ・パヌラ指揮、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。第36回日本管打楽器コンクールファゴット部門第3位。第23回宝塚ベガ音楽コンクール木管部門第1位、兵庫県知事賞受賞。第18回大阪国際音楽コンクール木管部門最高位。第18回松方ホール音楽賞(木管部門)受賞。(公財)青山音楽財団より、第26回青山音楽賞(バロックザール賞)受賞。第16回JILA音楽コンクール室内楽部門第1位。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。これまでにファゴットを横井晴子、日名弘見、岡崎耕治の各氏に師事。京都市交響楽団ファゴット奏者。



高島 美紀 /オーボエ Miki TAKASHIMA (Oboe)

兵庫県立西宮高等学校音楽科卒業。同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業。同大学にて「平成17年度石村雅子賞」受賞。第47回関西新人演奏会出演。ドイツ国立カールスルーエ音楽大学を最優秀の成績で卒業。フランス国立モンペリアル音楽院を審査員満場一致の首席卒業。フランス演奏家資格取得。第17回宝塚ベガ音楽コンクール入選。第12回イタリアロヴェレド=ロ国際音楽コンクール木管部門第1位、室内楽部門第1位。第76回日本音楽コンクールオーボエ部門最高位。岩谷賞(聴衆賞)受賞。第9回Sony国際オーボエコンクール入賞。清水明、古部賢一、高山郁子、ジャック・ティス、クリスティアン・シュミット、トーマス・インデアミューレ各氏に師事。2019年まで京都市交響楽団オーボエ奏者。



上敷領 藍子 /ヴァイオリン Aiko KAMISHIKIRYO (Violin)

東京藝術大学音楽学部首席卒業。同大学大学院修士課程を修了。併せてアカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。その後マーストリヒト音楽院を首席卒業。京次エンジェルヴァイオリンコンクール、摂津音楽祭、バルレック国際(伊)、マルコ・フィオリンド国際(伊)、レオポルド・ベラン国際(仏)など国内外において受賞多数。青山音楽財団より新人賞受賞。これまでにポーランドクラクフ室内管弦楽団、大阪センチュリー交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢等と共演。2012年度上半期、野村財団奨学生。現在はソロ、室内楽、オーケストラ客演等幅広く活動。京都コンサートホール第1期登録アーティスト。



朴 梨恵 /ヴィオラ Rie PARK (Viola)

京都市立音楽高校(現京都市立京都堀川音楽高校)を経て、京都市立芸術大学音楽学部卒業。日本クラシック音楽コンクール全国大会入賞。2006年日本ソリストコンクール奨励賞受賞。2007年ドイツ・ハイルゲンベルク音楽祭にて音楽賞受賞。ハノーファー音楽大学卒業後、ベルリン芸術大学ソリストコース修士課程(ヴァイオリン)を卒業。ハノーファー北ドイツ放送交響楽団研修生終了後、ベルリン・コミッシェ・オペラ・アカデミー生として研鑽を積む。ハノーファー音楽大学院ヴィオラ科卒業。2016年7月より、NPO法人イエローエンジェルや京都中ロータリークラブ他支援のもと、京都を拠点にSpecial chamber concert朴梨恵室内楽コンサート主宰。京都コンサートホール第1期登録アーティスト。



加藤 文枝 /チェロ Fumie KATO (Violoncello)

東京藝術大学音楽学部器楽科チェロ専攻卒業。学内にて、安宅賞、アカンサス賞、三菱地所賞受賞。同大学院修士課程卒業。アカンサス音楽賞受賞。パリ市立音楽院を満場一致の首席で卒業。平成23年度京都市芸術文化特別奨励者。2011・2012年度ロームミュージックファンデーション奨学生。CHANEL Pygmalion Days アーティスト。2008年、第8回ビバホールチェロコンクール第1位。2009年、第13回松方ホール音楽賞、併せて特賞受賞。第7回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。2010年、第8回東京音楽コンクール弦楽部門第2位。2014年、FLAME国際コンクール(パリ)第3位。現在、一般財団法人地域創造「公共ホール音楽活性化支援事業」登録アーティスト。日本各地でのソロ・リサイタル、室内楽コンサートに多数出演。これまでに、現田茂夫指揮日本センチュリー交響楽団、湯浅卓雄指揮藝大フィルハーモニア、円光寺雅彦指揮東京フィルハーモニー交響楽団、小林研一郎指揮日本フィルハーモニー交響楽団、三ツ橋敬子指揮京都市交響楽団、本名徹次指揮兵庫芸術文化センター管弦楽団等多数のオーケストラと共演。

Vol. 2

「ピアニスト・ベートーヴェン」

「ピアノの名手」ベートーヴェンの
技(わざ)に酔う

2020年11月7日|土|14:00開演

全席指定

一般 ¥5,000 / U-30 ¥2,500 (当日座席指定 ※要証明) / 会員* ¥4,500

*京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会の会員が対象です。



ゲルハルト・オピッツ /ピアノ Gerhard OPPITZ (Piano)

ドイツ・ピアノの正統派を代表する演奏家として国際的にその名を知られるピアニスト。音楽解釈におけるこの楽派の流れは、オピッツ自身の師であるヴィルヘルム・ケンプに繋がり、そしてその源流は、リストやベートーヴェンにまで直接遡る。1977年、第2回アルトゥール・ルービンシュタイン・コンクールで第1位優勝。この優勝により、一躍、世界的に脚光を浴びる。翌年には、名門ドイツ・グラモフォンより最初のレコードをリリース。1981年、ミュンヘン国立音楽大学で開校以来最も若い教授となる。これまでに、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、ロンドン交響楽団、ボストン交響楽団、フィラデルフィア管弦楽団、クリーヴランド管弦楽団、ピッツバーグ交響楽団等のオーケストラと、カルロ・マリア・ジュリーニ、リカルド・ムーティ、ロリン・マゼール、ズービン・メータ、サー・コリン・デイヴィス、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、ホルスト・シュタイン、サー・ネヴィル・マリナー、ヘルベルト・ブロムシュテット、ドミトリー・キタエンコ、ガリー・ベルティニ等の指揮者と共演している。バッハからブーレーズまで幅広いレパートリーを持つが、特にシュペルト、ベートーヴェン、モーツァルト、バッハ、グリーグ、ブラームスのピアノ作品全曲を重要なレパートリーとしている。とりわけベートーヴェンとブラームスに関しては、世界最高の演奏者の一人として高く評価されており、世界各国で、ベートーヴェンおよびブラームスの全曲演奏会をたびたび行っている。



石上 真由子 /ヴァイオリン Mayuko ISHIGAMI (Violin)

8歳の時にローマ国際音楽祭に招待される。第77回日本音楽コンクール第2位、併せて聴衆賞及びE・ナカミチ賞受賞。その他、国内外のコンクールで優勝・受賞。NHKFM名曲リサイタルやリサイタル・ノヴァに出演。東京交響楽団、京都市交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、ブラショフ国立交響楽団など、国内外でオーケストラと共演。海外の音楽祭にも多数出演。ソロ活動と共に長岡京室内アンサンブル、アンサンブル九条山のメンバーとしても活躍。Ensemble Amoibeシリーズ主宰。Music Dialogue アーティスト。CHANEL Pygmalion Days 室内楽アーティスト。京都コンサートホール第1期登録アーティスト。令和元年度京都市芸術新人賞受賞。2019年度音楽クリティック・クラブ賞 奨励賞受賞。2019年度第29回青山音楽賞 青山賞受賞。日本コロムビアよりCD「ヤナーチェク ヴァイオリン・ソナタ」好評発売中。



上森 祥平 /チェロ Shohei UWAMORI (Violoncello)

日本音楽コンクール第1位入賞、併せて松下賞受賞。ベルリン芸術大学に留学、国家演奏家資格を取得し卒業。2005年～2007年ドイツ3大Bチェロ作品全曲演奏会を成功させ、2008年よりバッハ無伴奏チェロ組曲全曲演奏会を開始。2017年からはJ.S.バッハ及びB.ブリテン無伴奏チェロ組曲全曲演奏会に拡大。毎年各方面から絶賛を受け開催中。NHK・BS・FM他出演多数。小林研一郎、下野竜也等各氏の指揮のもと主要オーケストラと共演。2005年～2016年東京藝術大学非常勤講師。2015年より京都市立芸術大学非常勤講師。京都市芸術文化特別奨励者。京都府文化賞奨励賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。令和2年度より相愛大学特任准教授に就任。

京都府立図書館で関連イベントを開催!!

図書館
セミナー

ベートーヴェンを
読む、聴く、味わう

2020年 7月12日(日)14:00開始

会場／京都府立図書館 入場無料 先着30名(事前申込不要)

ベートーヴェンに迫るお話(話し手：高野裕子[京都コンサートホール事業企画課])をお聞きいただき、京都府立図書館所蔵のベートーヴェンに関する書籍をご紹介します。また、ナクソス・ミュージック・ライブラリーでは、ベートーヴェン作品の名演も試聴していただくことができます。どうぞご期待ください。

協力：京都府立図書館

ベートーヴェンの知られざる世界

The world unknown to Ludwig van Beethoven

京都コンサートホールが開館25周年を迎える2020年、「楽聖」ベートーヴェンは生誕250年を迎えます。

皆から愛され尊敬されるこの作曲家のメモリアルイヤーには、日本のみならず世界中でさまざまな演奏会が開催されることでしょう。

京都コンサートホールでは、そんなベートーヴェンの知られざる世界を描き出す、特別プログラムをご用意しました。

これまでに会ったことのない「ベートーヴェン」を皆さまにお届けします。

ベートーヴェンとおきの「こだわり」を垣間見る

Vol.1 「楽聖の愛した歌曲・室内楽」

2020年 10月10日 | 土 | 14:00開演 **全席指定**

一般 ¥4,000 / U-30** ¥2,000 (当日座席指定 ※要証明) / 会員* ¥3,600



歌曲と室内楽をこよなく愛したベートーヴェン。ほかでは聴くことのできない、知られざる傑作の数々を厳選しました。演奏は、ドイツ在住の気鋭アーティストや京都市交響楽団メンバー、京都コンサートホール登録アーティストたち。万華鏡のように变幻自在なベートーヴェンの世界をお楽しみいただけます。

【ナビゲーター／レクチャー】平野昭(桐朋学園大学特任教授)

【演奏】マティアス・ヴィンクラー(バリトン)、村上明美(ピアノ)、小谷口直子(クラリネット・京都市交響楽団首席奏者)、水無瀬一成(ホルン・京都市交響楽団副首席奏者)、村中宏(ファゴット・京都市交響楽団団員)、高島美紀(オーボエ・元京都市交響楽団奏者)、上数領藍子(ヴァイオリン・京都コンサートホール登録アーティスト)、朴梨恵(ヴィオラ・京都コンサートホール登録アーティスト)、加藤文枝(チェロ)

【曲目】～オール・ベートーヴェン・プログラム～

遥かなる恋人に寄す op.98 / 《25のスコットランドの歌》op.108より 第16曲(この病める世をいかに) / ピアノと管楽のための五重奏曲 変ホ長調 op.16 / 2つのオブリガート眼鏡付きの二重奏曲 変ホ長調 WoO 32 / 《フィガロの結婚》の主題によるピアノとヴァイオリンのための12の変奏曲 へ長調 WoO 40 ほか

「ピアノの名手」ベートーヴェンの技に酔う

Vol.2 「ピアニスト・ベートーヴェン」

2020年 11月7日 | 土 | 14:00開演 **全席指定**

一般 ¥5,000 / U-30** ¥2,500 (当日座席指定 ※要証明) / 会員* ¥4,500



圧倒的なピアノ・テクニックと湧き上がるようなベートーヴェンの情熱を全身で感じていただける、ピアノ・ソナタ2曲。そして、ベートーヴェン自身が作曲・編曲を行った、華やかなピアノ・トリオ版《交響曲第2番》。ピアノの名手・ベートーヴェンを感じていただけるプログラムです。

【演奏】ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)、石上真由子(ヴァイオリン・京都コンサートホール登録アーティスト)、上森祥平(チェロ)

【曲目】～オール・ベートーヴェン・プログラム～

ピアノ・ソナタ第17番 二短調 op.31-2 「テンペスト」 / ピアノ・ソナタ第23番 へ短調 op.57 「熱情」 / 交響曲第2番 二長調 op.36 (ピアノ三重奏版)

2公演
セット券

15%以上お得!
~~¥9,000~~ → ¥7,500

全席指定 / 2公演共通座席 / 限定100セット

セット券販売期間

会員*先行... 3月22日⑩～3月28日⑤
一般 3月29日⑩～4月24日⑤

各公演 単券・U-30券**

会員*先行... 4月19日⑩
一般 4月25日⑤

*[会員] 京都コンサートホール・ロームシアター京都Club及び京響友の会の会員が対象です。

**[かなりお得/U-30券] 30歳以下のお客様限定。各公演50枚。引換券にて、当日座席指定。要証明書。当日証明書を忘れの場合、追加料金が発生します。あらかじめご了承ください。

※シニア割引(70歳以上) / 障がいのある方割引: 各公演1割引(京都コンサートホール・ロームシアター京都のみで取扱。窓口でご本人様が証明書等をご提示ください)

※都合により内容等変更になる場合がございます。公演中止以外の出演者、曲目などの変更による払い戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

※お支払い後のキャンセルや座席の変更は受けできません。※未就学児の入場はご遠慮ください。(託児室あり / 1歳以上 / 定員有 / 有料1,000円 / 各公演日の1週間前までに要予約。☎075-711-2980)



チケットのお問い合わせ・お申し込み

京都コンサートホール ☎075-711-3231

10:00～17:00 / 第1・第3月曜日休館(※休日の場合はその翌平日)
〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町1-26 (地下鉄烏丸線「北山」駅①③番出口より南へ5分)

ロームシアター京都 ☎075-746-3201 (10:00～19:00 / 年中無休 ※臨時休館日を除く)

ローソンチケット <https://l-tike.com> (Lコード:54665) ※単券のみ

オンラインでもチケットをご購入いただけます! <https://www.kyotoconcerthall.org>

[Facebook] Kyoto Concert Hall [Twitter] 京都コンサートホール @KCH_Kyoto [公式ブログ] <https://www.kyotoconcerthall.org/blog>

